

令和 6 年度
自己評価報告書

令和 7 年 4 月

一般社団法人 岡山県歯科医師会立
岡山高等歯科衛生専門学校

目次

1. 学院の概要	2
(1) 学院名・所在地.....	2
(2) 教育課程	2
(3) 学生数	2
2. 学院の教育理念・目標.....	2
3. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画	3
4. 評価項目の達成及び取組状況.....	4
(1) 教育理念・学院運営.....	4
(2) 教育体制・教育環境.....	5
(3) 教育活動	6
(4) 学生支援	7
(5) 学生の受入れ募集.....	8
(6) 学修成果、社会貢献・地域貢献.....	8
5. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果	9

1. 学院の概要

(1) 学院名・所在地

学 院 名	一般社団法人 岡山県歯科医師会立 岡山高等歯科衛生専門学校
学院長名	木村 里栄
所 在 地	〒700-0813 岡山県岡山市北区石関町1-5
連 絡 先	TEL (086) 223-0202 FAX (086) 233-4363 メールアドレス info@odhc.jp

(2) 教育課程

課 程 名	歯科医療専門課程
学 科 名	歯科衛生科
修業年限	3カ年
募集人員	50名（女子）
備 考	「歯科衛生士」の国家試験受験資格取得

(3) 学生数

各年5月1日現在

年度当初	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入学者数	42名	36名	41名
在校生数	149名	132名	119名

2. 学院の教育理念・目標

「徹底した実学教育」、「人間性の育成」、「社会に貢献できる力と誇りの獲得」という3つの教育理念を柱に、高度の技術・知識を持って医療人として現代の社会で自己の未来を切り開いていく創造的能力と倫理観を兼ね備えた人間の育成、人材の養成を目指して、次の教育目標を掲げている。

- (1) 医療人としての身につけるべき基礎力（知識・技術）の習得
- (2) 自律できる人間力、倫理観を兼ね備えた人材の育成
- (3) 多くの現場で実習を行い、多様なニーズに応える現場力を身につける

3. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) 歯科衛生士国家試験の全員合格

国家試験の全員合格は最重点目標である。専任教員、講師が連携して国家試験対策補講、業者模試、学内模試、3年生のグループ学習、国家試験担当講師による個別指導などにより、昨年度に引き続き全員合格達成を目指す。

(2) 入学者の確保

少子化による18歳人口の減少から定員確保が難しくなっており、高校訪問、一日体験入学や学院説明会を通じ本学院の特徴などをアピールする。また、ホームページを充実するとともに、「さんぽう」実施する高校1年、2年生対象の職業体験、職業説明会及び進学ガイダンスに積極的に参加し、歯科医師会員への声かけ依頼など本学院の周知と受験への働きかけ活動を強化していく。そして、受験機会の拡大と意欲ある学生の確保に向けて指定校推薦入試枠の拡大、入学金・受験料の減免など新たな推薦入試を導入した。

(3) 就職希望者の全員就職の達成

学生の就職意識を高めるため、就職セミナー、学生の意向に沿った就職活動を支援する。

無料職業紹介所としての機能や岡山県歯科医師会との連携により、卒業予定者の就職100%達成を目指す。

(4) 教育活動の円滑な実施、教育メニューの充実

基本的な倫理的問題に向き合う力を身に付けるだけでなく、外部講師による「パワーアップセミナー」などの特別講義を通して充実した人間力、倫理観を高める教育を行う。中退者が生じないよう、入学案内段階から歯科衛生士の仕事内容についてわかりやすく伝えるとともに、入学後には専任教員・担任等による親しみやすいクラス運営や個人的悩みが気軽に相談できる体制を整え、学習面でのフォローアップと合わせ、学生個々の状況に応じた支援を行えるようにする。休学者に対しても円滑な復帰に向け、随時連絡をとりつつ、相談に応じていく。

(5) 教員の指導能力の向上と教育環境・内容の充実

新たな知見の解明、治療技術のイノベーション、機器の開発など歯科医療の進展や学生を取り巻く社会環境の変化に対応し、基礎学力の向上、また、教員の指導力を高めていくため、学会や研修会などに積極的に参加することとした。また、学生アンケートなどを踏まえ、施設・設備の増設・更新などを含め教育環境・内容を充実していく。医療分野におけるデジタル化に対応できるよう学生の能力向上を進める。

4. 評価項目の達成及び取組状況(令和6年4月～令和7年3月)

ガイドライン評価項目別に下記に記す。

【評価数値】

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

(1) 教育理念・学院運営

本学院の教育理念・教育目標については、入学希望者等に対し、学院説明会において説明した。入学時懇談会では保証人を含め周知を行い、在学生に対しては、ホームルームの時間等に説明、周知を図っている。歯科衛生士の将来像について検討し、コミュニケーション能力の向上や令和5年度からのカリキュラム変更に反映させた基礎的化学知識の強化を行っている。

予算、収支計画は、過去の実績等に基づき作成し、適正な執行に努めている。

決算結果については、設置者である岡山県歯科医師会において監事が確認している。財務基盤の安定と着実な運営を進める。

学校教育法、文部科学省の各種通達、厚生労働省が定める歯科衛生士養成所指定規則等を遵守し、学校運営を行っている。個人情報の保護に関しては、その重要性について教職員、学生に周知徹底し、JISQ15001 ISO27001 に準拠した適切な対応をしている。

評価項目	評価結果
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
中長期的に学校の財務基盤は安定しており、予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされ、自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・ 歯科医療の社会的要請に応える歯科衛生士養成の将来構想の作成とそれに基づいた教育理念・目標の見直し
- ・ ホームページ等を通じた情報公開
- ・ ここ数年の定員割れにより歳入減収に
- ・ 自己評価の実施方法を点検して改善を行い、その情報公開を進める。
- ・ 外部視点からの評価を充実していく必要がある。

② 今後の改善方策

- ・ 人口構成や疾病罹患状況など歯科医療環境の変化に対応した歯科衛生士像の将来構想の作成とそれに向けた教育等を検討
- ・ 歯科衛生士という職業のさらなる周知のため各種媒体への掲載
- ・ 安定した財務基盤を継続させるためには、応募者、入学者を増やすとともに中途退学者を無くしていく。

③ 特記事項

なし

(2) 教育体制・教育環境

本学院は、岡山県歯科医師会を運営母体として管理運営体制は「岡山県歯科医師会定款」、「岡山高等歯科衛生専門学院規則」等に基づき設置し運営している。

教育管理運営体制として、「職員会」、「教務会議」、「運営協議会」を設置している。

「教務会議」は、学院長、副学院長、教務部長、副教務部長、教務担当講師、及び常勤職員で構成し、学院運営、学生教育の方向性を検討し、重要事項の決定を行っている。また、自己点検評価や学生の福利厚生に関する事項についても協議、調整、議論を行っている。

「職員会」は、学院長、講師、専任教員・事務職員・その他の職員で構成し、学科・課程の編成、教育計画などの事項について協議決定を行っている。

また、学外から多様な意見を頂き学院長の諮問に応えるほか、学院運営における重要事項への提案を行う機関として、「運営協議会」を設けているが、令和4年後期から幅広い歯科医療・歯科衛生業務へのニーズを学院運営に活かすため各地域歯科医師会に参画を求めることとし、運営協議会の充実を図っている。

情報公開については、自己評価報告書、学院関係者評価報告書、教育概要等の公開を行っている。

また、学生のキャンパスライフの充実を図るため、学生が集う交流集会を開催したほか、今年度から昼休み時間、会館1階において移動販売車によるパン等の販売を行っている。

防災については、法令に基づいた防災訓練を実施しており、大規模災害時の安否確認、帰宅困難学生等の対応について岡山県歯科医師会と連携し計画を策定中である。

図書については、系統的に分類、整備し、歯科医学、医療の進歩に合わせた充実を進めている。

評価項目	評価結果
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる優れた教員(本務・兼務含め)を確保しているか	④ 3 2 1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われている	④ 3 2 1
学内の施設・設備、学外の実習施設は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・ 学校組織整備、運営などに関わる意思決定システムの充実とその運用
- ・ 教育活動に関する情報公開・周知の普遍的な展開
- ・ 施設・設備は、歯科医療や歯科衛生士業務の日進月歩に合わせた整備が必要
- ・ 図書施設、蔵書を含めてより充実した整備が必要
- ・ 防災訓練等防災に関わる部分については本会と一体化で実施が必要

② 今後の改善方策

- ・ 学校運営等に関わる運営協議会等との意見交換、連携の強化と組織系統の明確化
- ・ 情報公開の基本となるホームページの充実と迅速な対応
- ・ 情報システム整備の促進
- ・ 施設・設備は常に最新の状態に更新できるよう検討を進める。
- ・ 防災訓練において本会事務局と合同での防災訓練の実施
- ・ 大規模災害に備え、安否確認・帰宅困難者の対応等についての訓練も必要
- ・ 指導力強化のため令和7年4月より新任専任教員の採用を予定している。

③ 特記事項

なし

(3) 教育活動

厚生労働省の歯科衛生士養成所指定規則に基づいて教育課程の編成を行っている。歯科医学の進歩、歯科医療の社会的要請の変化を見極めつつ将来構想の検討を行い、コミュニケーション力の向上や基礎的化学知識の強化を課題と捉え、令和5年度新入生からカリキュラムを変更した。

多様なニーズに応える現場力を高めるため、学生の臨床実習医院を岡山県歯科医師会と連携し複数に拡大した。専任教員に対しては、自己研鑽を積み、歯科医学・医療、保健、教育関連の学会、研修、講演へ参加するよう勧めており、こうした取組により教員の資質向上と、教育指導の充実に努めている。また、学生の臨床実習において2年次、3年次異なる臨床実習医院での実習を行うことにより協力医院の増加を図っている。また、臨床実習医院講師連絡協議会をはじめとし臨床実習講師との連携を深めるよう努めている。

評価項目	評価結果
教育理念等に沿ったカリキュラムの編成・実施方針等を策定し、関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携によるその作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
新型コロナウイルス感染症など社会生活に大きな影響が生じた場合、教育活動を十分に確保できる体制ができているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・ 教育活動評価体制の確立と外部関係者による評価の実施
- ・ 歯科衛生・医療の多様なニーズに応える現場力の高い人材の育成
- ・ 臨床実習医院での学生の実習状況
- ・ 専任教員の資質の向上

② 今後の改善方策

- ・ 評価体制の推進
- ・ 学生による授業評価等の推進
- ・ 専任教員の積極的な研修等への遠隔を含めた参加や自己研修の充実
- ・ 臨床実習医院での学生の実習状況を把握するため臨床実習医院講師とのさらなる連携

③ 特記事項

なし

(4) 学生支援

問題を抱える学生に対しては、担任教員、教務担当講師を中心に個別相談を行い、教務担当者全体で情報を共有し、問題解決を図っている。

健康管理については、全学生に校医による年1回の健康診断を実施した。また、様々な感染症等への対応についてはこれまで通り衛生管理の徹底を図っている。

経済的支援では、授業料は比較的低廉に維持しており、指定校推薦合格者においては入学検定料、入学金の減免などを実施した。また、日本学生支援機構奨学金、教育訓練給付制度等の手続きサポートや保護者の経済状況に応じた授業料等の分納などを行っている。

国において学生への給付型奨学金の拡大、授業料の減免される高等教育の修学支援新制度については国の確認を受け、来年度も引き続き対象校となった。

就職支援では、職業安定法及び職業安定法施行規則による無料職業紹介事業による就職支援を行っている。また、県歯科医師会とも密に連携して、学生の希望に沿う就職先の決定に努めている。

評価項目	評価結果
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1

① 課題

- ・ 学生の生活・学習環境において、より充実した支援体制の検討
- ・ 卒後教育について、具体的な開催法について

② 今後の改善方策

- ・ 専任教員、担当講師を含めた担当者間の情報共有、連携の強化。また、専任教員を増やすことにより学生がより相談しやすい機会・環境を整備
- ・ 卒後研修において岡山県歯科医師会・岡山県歯科衛生士会・同窓会などの研修会の周知をホームページ等を活用し周知

③ 特記事項

なし

(5) 学生の受入れ募集

歯科衛生士を志望する学生を広く受け入れることを基本として、学生募集を行っている。学校案内、募集要項、ホームページに学院の概要、入学試験、受験方法などについて示している。

県下の高校訪問、一日体験入学、学院説明会、ホームページまた。高校での進学ガイダンスへの積極的な参加により、学院の情報発信・周知に努め、入試制度の改善を含め入学者の安定的な確保を検討していく。

評価項目	評価結果
学生募集活動は、試験内容の見直しを踏まえ、教育成果を正確に伝えるなど適正に行われているか	4 ③ 2 1
学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・ 18歳人口の減少による受験生数の低下を極力抑えるための入試内容改善の検討
- ・ 歯科衛生士という職業のさらなる周知

② 今後の改善方策

- ・ 歯科衛生士という職業の社会的理解度のアップを図るための積極的な広報、キャリア教育の充実
- ・ 本学院の優位性についてホームページなど充実し、強くアピールしていく。
- ・ 進学情報誌等に学院入試情報等の掲載

③ 特記事項

なし

(6) 学修成果、社会貢献・地域貢献

模試の実施や受験に向けて学生の意欲を喚起するため特別講義を行い、後期からは専任教員、講師による国家試験対策補講、業者模擬試験、学内模試、3年生のグループ学習、国家試験担当講師に

よる個別指導など最大限の対策を講じたが、今年度の歯科衛生士国家試験合格率は新卒者 95%、既卒者 0%となった。

就職については、県歯科医師会と緊密に連携し幅広く求人票を受け入れており、就職率は 95%となった。進路に不安を持つ者に対しては、専任教員、担任による面談等により、退学者数の低減を図っている。社会貢献・地域貢献に向けスペシャルオリンピックス岡山の事業等での歯科健診・歯科保健指導等に積極的に参加した。

歯科衛生教育実習の一環として 3 年生が岡山市立御野幼稚園、御野小学校の児童に対し、口腔ケアに関する講話、寸劇、歯ブラシ指導を行った。

評価項目	評価結果			
資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1

① 課題

- ・ 中退した学生の原因分析とその対策
- ・ 歯科衛生士国家試験の 100%合格を常に目標として、その対策補講、学生指導のさらなる充実した実施
- ・ 学生のボランティア活動へ参加方策の検討
- ・ 地域に対する公開講座等の実施の検討

② 今後の改善方策

- ・ 中退学生理由・原因の分析などを通して、よりきめ細かな学生指導を行うように努める。
- ・ 歯科衛生士国家試験の出題傾向の分析、各講師間の密接な連携などを通して充実した補講の実施、また入学決定者において入学前課題等のかし、基礎学力向上させる。国家試験対策補講等をさらに充実させ国家試験に対する学生指導の向上を図る。
- ・ 学生のボランティア活動への奨励、支援を、岡山県歯科医師会・岡山県歯科衛生士会と連携して行う。

③ 特記事項

なし

5. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学校運営、教育活動は教育理念・教育目標に基づき、年間教育計画を策定し、その完全実施をめざし、適切かつ円滑に目標達成に向け事業が進められたが昨年度に比し国家試験合格率は低下した。さなる国家試験対策が必要である。就職率は良好であり、概ね当初の目標を達成することができた。

具体的には、歯科衛生士の将来像について検討し、コミュニケーション能力の向上や基礎的化学知識の強化を課題と捉え、令和 5 年度からのカリキュラム変更に反映させている。

また、充実したキャンパスライフを享受できるよう、コロナ禍で中止していた学生の交流集会を開催したほか、昨年度より軽食飲料の販売コーナーの設置、また昼休み時間に移動販売車によるパン等の販売などを行い、学院が、教育研究の場である学術空間としてだけでなく、交流の場である社会空間としての機能性が高まるよう努力した。また、県歯科医師会、学院教務、学生代表と懇談会を設け学生からの様々な意見、要望を聞く場としている。

このほか、様々な問題を抱える学生に対しては、専任教員、教務担当講師を中心に個別相談を行い、教務担当者全体で情報を共有し、問題解決が図れる態勢の整備に努めた。

今後の課題としては、デジタルデンティストリー、DXなど急速に進む歯科医療のデジタル化への対応や、より充実した学院生活が送れるよう、設備面の充実だけでなく人的交流の更なる促進などが挙げられる。